

学校だより

粥見っ子 No. 11



令和4年度全国学力・学習状況調査から

本年4月に全国の6年生を対象に「全国学力・学習状況調査」が実施され、7月末に調査結果が文部科学省から公表されました。この調査は、児童の学力学習状況を把握し、授業や生活習慣の改善に役立てることを目的としています。

今年度実施された教科は、国語・算数・理科で昨年度よりも1教科増えた調査となりました。どの教科も全国・三重県の平均値を上回る結果となりましたが、児童質問紙では家庭での計画的な学習ができていない割合が高いなどの課題もありました。また下の問題のように本校をはじめ全国的に正答率が低かった問題もありました。なぜ子どもたちが間違ってしまったのか学校でも分析をしていますが、おうちでも考えてみてください。

③

(3) りんごの果汁が20%ふくまれている飲み物が500mL あります。この飲み物を2人で等しく分けると、1人分は250mL になります。

250mL の飲み物にふくまれている果汁の割合について、次のようにまとめます。

250mL は、500mL の $\frac{1}{2}$ の量です。

このとき、ア

上のア にあてはまる文を、下の 1 から 3 までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合も $\frac{1}{2}$ になります。
- 2 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合は2倍になります。
- 3 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になっても、果汁の割合は変わりません

〈答えは 3〉

現在、本校での「強み」「弱み」を把握して、指導方法や取り組みについての検討を行い、後期からの実践を進めていくところです。調査結果につきましては、後日報告させていただきます。

(裏面に続く)

通知表が変わります！

令和2年度から新学習指導要領がスタートし3年目を迎えます。新学習指導要領はこれからの社会が、どんなに変化して予測困難になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしいという願いが込められています。身に付けた知識の量で評価するのではなく、それらの知識を生活の中にどのように使っているかをめざしています。

10月7日（金）で前期が終わり、11日（火）から後期が始まります。前期の終わりには、子どもたちのこれまでのがんばりを伝える通知表「あゆみ」をお渡しします。新しい学習指導要領になってから2年、学校の方で、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点の評価をどのようにしていけば、児童・保護者の方にわかりやすく伝えられるかを考え、昨年度までの評価内容にブラッシュアップをかけ、新しい評価内容（知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度）の3観点にあわせた表記とさせていただきました。（国語は書写があるため4観点となっています。）

また「あゆみ」では、それぞれの項目について、3段階（◎よくできた・○できた・△がんばろう）で評価することになりますが、新学習指導要領の「何ができるようになったか」が重視されていることを受け、できるようになったことを、「○できた」として評価し、さらにそのことが生活や社会にしっかりと関連づけていることをもって「◎よくできた」としています。

昨年度までの「あゆみ」

5年 1番		◆ 教科の記録	
教科	評価内容	前期	後期
国語	言葉や文字の使い方や文と文の関係を理解し、適切に使うことができる。		
	文字を美しく整えて書くことができる。		
	考えが伝わるように表現を工夫して話したり、話の内容や意図を考えながら聞いたりすることができる。		
	目的や意図に応じて、書き表し方を工夫し、筋立てて文章を書くことができる。		
	内容や要旨を把握しながら文章を読み、自分の考えをまとめ広げることができる。		
社会	言葉がもつよさを認識しようとし、よりよく使おうとしている。		
	資料や調査活動などを通して、日本の国土や産業と国民生活との関連を理解している。		
	日本の国土や産業の特色や意味について考え、社会への関わり方を適切に判断し、表現している。		
算数	よりよい社会を考え、主体的に問題解決しようとしたり、社会生活に活かしたりしている。		
	数量や図形などの意味や性質について理解することができる。		
	計算・作図・測定などの技能を身につけている。		
	数量や図形について筋道を立てて考え、問題解決したり、見方や考えを深めたりすることができる。		
	数学的活動のよさに気づき、粘り強く考え、算数で学んだことを生活や学習に活かそうとしている。		

今年度からの「あゆみ」

5年 99番		児童の名前の表示	
◆ 教科の記録			
教科	評価内容	前期	後期
国語	言葉や文字の使い方や文と文の関係を理解し、適切に使うことができる。	◎	◎
	文字を美しく整えて書くことができる。	◎	◎
	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、筋立てて考える力や豊かに感じたりする力を働かし、自分の思いや考えを広げている。	◎	◎
	言葉がもつよさを認識しようとし、よりよく使おうとしている。	◎	◎
社会	資料や調査活動などを通して、日本の国土や産業と国民生活との関連を理解している。	○	○
	日本の国土や産業の特色や意味について考え、社会への関わり方を適切に判断し、表現している。	○	○
	よりよい社会を考え、主体的に問題解決しようとしたり、社会生活に活かしたりしている。	○	○
算数	数量や図形などの意味や性質について理解し、計算・作図・測定などの技能を身につけている。	△	△
	数量や図形について筋道を立てて考え、問題解決したり、見方や考えを深めたりすることができる。	△	△
	数学的活動のよさに気づき、粘り強く考え、算数で学んだことを生活や学習に活かそうとしている。	△	△

